市町村名	金武町

平成２７年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－①	ギンバル海浜公園整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(13)－イ
					駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	基地跡地推進課	事業実施(予定)年度	平成27～32年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－8
事業内容	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウェルネスの里をテーマに跡地利用のための整備を進めている。そのギンバル訓練場跡地において、地域住民及び観光客等が安全で快適に利用できる海浜公園を整備し誘客を図る事で、跡地利用を促進し、観光リゾートの実現を目指す。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
予算の状況	(a) 当初予算額	14,808	－			
	(b) 予算現額	14,808	－			
	(c) 増減額(b-a)	0	－			
	(d) 繰越額	－	14,808			
	A. 計(b+d)	14,808	14,808			
B. 執行済額		0	10,303			
うち交付金充当額		0	8,242			
次年度繰越額		14,808	－			
執行率（%）(B/A)		0.0%	69.6%			
予算の状況の説明		本事業地の隣接地において沖縄県が海岸整備事業を実施しており、事業境界や整備内容、施工手順等について、調整を行う必要があり、不測の日数を要したため、平成28年度に繰越した。予算執行状況については、公園設計面積を11，700㎡としていたが、沖縄県と事業境界を調整した結果、面積が8，300㎡と確定した事から、設計費を減とした。				

活動目標(指標)及び達成状況

H27活動目標(指標)		達成状況 27年度	28年度	29年度	30年度
実施設計	目　標	（　実施設計　）		（　）	（　）
	実　績	実施設計			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：海浜公園整備に係る実施設計を実施し、施設配置、植栽配置、雨水排水設計、付帯施設設計等について検討・決定する事ができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H27成果目標(指標)		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
海浜公園の整備に向けた実施設計完了	目　標	（　）	（実施設計の完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：海浜公園整備の実施設計が完了し、整備内容及び数量を決定させ、公園整備工事に向けた事業費を積算する事ができた。今回検討した施設の建築設計については、H29年度実施予定であり、30年度は公園整備工事を実施していく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当該事業地の隣接地では沖縄県が海岸整備事業を実施しており、平成29年度から工事開始予定となっている。また、海浜公園の背後地では、町事業で道路整備事業を実施しており、平成29年度から工事開始予定である。 当該事業地は、現況において砂浜となっている部分を公園及び道路として整備し、それより沖側が海岸整備範囲となっている事から、海岸事業における護岸設置以降でなければ、海水が流入するため公園整備工事を開始する事ができない場所となっている。 このような状況において、今後、3つの工事が同時に進行する事から、施工順番や工事車両進入路の調整などが必要である。	平成27，28年度は沖縄県と町で、海岸整備事務連絡協議会を設立し、設計内容に関する協議を行ってきた。平成29年度以降も、このよう機会を設け、施工工程等を密に調整し、工事に遅れがでないように進めていく。 また、工事に伴い必要となる許認可や同意等についても事前に確認し、関係機関との協議をスムーズに進め、事業進捗に遅れがないよう取り組む。

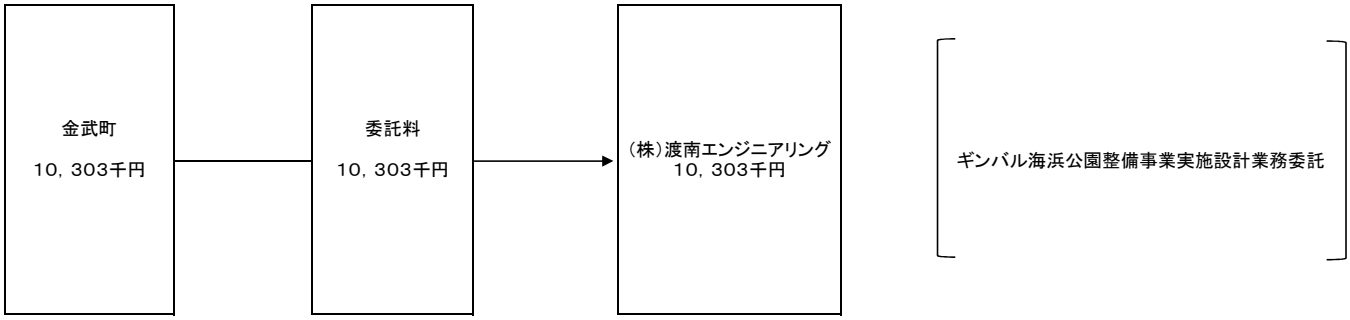
今後の取り組み方針

今後、平成29年度に建築実施設計を行い、平成30年度から工事実施予定である。工事年度においては、予算措置や発注の時期、年度毎の事業可能数量について、検討調整し、効率的な事業執行を行っていく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,303	10,303	8,242	2,061	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、整備面積による適切な規模であると考えている。 ○費目・使途について、事業目的を達成するために必要なものであり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	